

視察テーマ

- ・ 公共施設マネジメントの取組・状況について
- ・ 図書館 指定管理者運営についてメリット・デメリット



総務企画局行政経営室施設経営課より取り組み状況の説明を受ける

50年前、門司・小倉・若松・八幡・戸畑の5市が大合併した北九州市を訪問。第1の目的は、政令市の中で全国トップレベルの公共施設を保有している当市が、危機感をもって取り組んでいる「公共施設マネジメント」は、どのような考え方・どのような方法で行っているかを教えていただくことであります。

会議室窓の下は小倉城庭園



この取り組みは、平成23年2月より行革テーマの一つとしてこの分野の第一人者である東洋大学根本教授に入っただいて実施しているものであり、この7月「公共施設マネジメント方針」として答申が出たところでありました(中間答申は2月に出ておりました)。磐田市としても現在“公共施設白書”づくりに着手しているところであり、いただいた資料・方針は大いに参考になるはずであります。

.....

第2の目的として図書館の指定管理者制度について伺ってきました。北九州市は政令都市として初めて市図書館に指定管理者制度を導入した市であります(平成17年度)。制度導入による効果、問題点、課題等伺いましたが、司直率が直営時より向上し、利用者サービスに向上が図られたり等メリットが勝る説明がありました。但し、中央図書館等は直営館としての役割・立場もあり(窓口業務だけは委託としても)、全てを指定管理者制度にする考えは今のところないとのことでした。



教育委員会担当部門より説明を受けました



あっ！と驚いたおもてなし  
(夕食時のお箸入れ)

